

# 特集

## 『子どもの貧困問題』

### ふくおか筑紫フードバンク

子ども食堂支援に特化した

食品ロスが大きな社会問題となっている。食品ロス削減にフードバンクの取り組みが効果的であると言われている。福岡県にもNPO法人フードバンク北九州アゲイン・NPO法人フードバンク福岡・ふくおか筑紫フードバンク・フードバンクの事務局である特定非営利活動法人(NPO)チャイルドケアセンターの理事でありフードバンク事務局長である吉田まりえさん(写真)にお話を伺った。

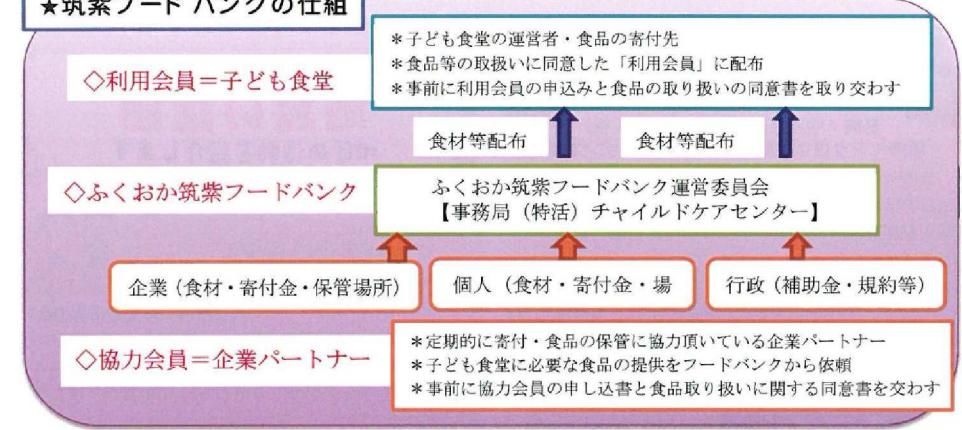
### ★特定非営利活動法人

#### チャイルドケアセンター



平成13年大野城市で「子育てをしたいと思える街づくり」を目指してNPO法人を設立。「子育てを真ん中に地域で育て、育ちあう」を合言葉(理念)に活動を開始。大野城市春日市・那珂川市・太宰府市・筑紫野市をエリアとして、活動対象を乳幼児から中学生までの子育て支援を行っている(情報と人の交換)

### ★筑紫フードバンクの仕組



楽しい食事の様子と工夫された献立の一例



HPより引用



チャイルドケアセンターが独自で運営している地域限定の子ども食堂である。受付名簿に記入するだけでどなたでも利用できる。予約はいらない。年に2回、西松建設の寮がある校区の小学校にチラシ(左図参照)を配布している。多い時で100人以上が参加。現在は平均70~80人の子どもや大人、高齢者も利用している。子どもは無料。大人は200円。当日は西松建設・平和寮の食堂を開放しても社員さんに手伝つもらつている。社員の方たちも食堂を利用している。食事を作るのは

チャイルドケアセンターが独自で運営している地域限定の子ども食堂である。受付名簿に記入するだけでどなたでも利用できる。予約はいらない。年に2回、西松建設の寮がある校区の小学校にチラシ(左図参照)を配布している。多い時で100人以上が参加。現在は平均70~80人の子どもや大人、高齢者も利用している。子どもは無料。大人は200円。当日は西松建設・平和寮の食堂を開放しても社員さんに手伝つもらつている。社員の方たちも食堂を利用している。食事を作るのは

楽しい食事の様子と工夫された献立の一例

HPより引用

### TENJIN 16 SKYHALL 天神スカイホール

福岡・天神の多目的ホールとして「心からのおもてなし」を提供いたします。  
講演会、シンポジウム、研修会、各種パーティー、同窓会、記念行事など  
幅広くご利用いただけます。お気軽にご相談下さい。



### ◎ふくおか筑紫フードバンクの概要

ネットワーク化そのほか子育て支援に関する事業・能力開発、多世代の交流・居場所づくりに関する事業・能力開発、多方面に事業を開拓し、今年19年目を迎えた。また、

起業、就労支援等

拠点に運営してお

り、フードバンク

那珂川の3ヶ所を

アミリ交換セ

ンター・大野城・

那珂川の3ヶ所を



### ふくおか筑紫フードバンクの成り立ち

子ども達の状況が大きく変わってきており、多様な人とのつながりと体験の貧困、経済的な貧困だけでなく、共働きの増加、経済的な困難家庭の増加、家庭学習の習慣がないなどの現状を把握。温かい食事をみんなと一緒に食べ、すべての子ども達の居場所を地域にたくさんつくることが必要と判断。

(那珂川市)に子ども食堂を試行開設。新聞社や多くのメディアを通じて反響が大きく予想以上の支持が集まる。NPOの自主事業で2016年夏、当時の那珂川町メディアを通じて反響が大きく予想以上の支持が集まる。NPOの法人ケアンセントーとしてどうかかわるか?集まつた食材の利用などを検討する。そこで、食品ロス削減も含め、子どもたちの状況を改悪するためには子ども食堂に特化したフードバンクを設立することを決断、組織づくりが始まる。

- ★ 目的・温かい食事を皆と一緒に食べるすべての子ども達の居場所づくりを地域にたくさん作ることを応援。筑紫野地域の「子ども食堂」支援に特化。
- ★ 運営方針
- ★ 支援地域・筑紫地区に限定
- ★ 食材・ご飯とみそ汁を基本とする
- ★ 協力企業・事業者に協力依頼
- ★ 子どもを中心に行き場所づくりを基本とする
- ★ 支援団体と支援内容
- ★ 大野城市・冷蔵庫・冷凍庫の購入・運営
- ★ 西松建設・食物の保管場所の提供
- ★ 大野城市瑞穂町の社員寮の空き管理人室を利用し、冷蔵庫・冷凍庫を設置。エアコンの寄贈設置。
- ★ 子ども食堂の場所提供(平和寮の食堂など)
- ★ エフコープ生協・大量のお米や大容量の食品などの保育・管理
- ★ 大野城市・冷蔵庫・冷凍庫の購入・運営
- ★ 協力会員(企業パートナー)と利用会員(子ども食堂)とのルール
- ★ 肉屋・近隣農家の野菜・調味料・寄付金等多岐にわたる
- ★ 子どもを中心に「利用会員」と「協力会員」の顔が見える地域循環の仕組みを目指す
- ★ 支援団体と支援内容
- ★ 大野城市・冷蔵庫・冷凍庫の購入・運営
- ★ 西松建設・食物の保管場所の提供
- ★ 大野城市瑞穂町の社員寮の空き管理人室を利用し、冷蔵庫・冷凍庫を設置。エアコンの寄贈設置。
- ★ 子ども食堂の場所提供(平和寮の食堂など)
- ★ エフコープ生協・大量のお米や大容量の食品などの保育・管理
- ★ 大野城市・冷蔵庫・冷凍庫の購入・運営
- ★ 協力会員(企業パートナー)と利用会員(子ども食堂)とのルール
- ★ 配布食品は
- ①軒先をしない
- ②食品の適切な取り扱い
- ③使用報告書の提出
- ★ 利用会員(子ども食堂)
- 現在34ヶ所に食品を配給。自治会や公民館、ボランティア団体が主催する子ども食堂で月1回定期的に開催しているのは10ヶ所未満。
- その他は年に1回~3回程度の利用が多い。

